

令和3年度銚田地域農村女性大学第2回講座を開催しました

8月4日（水）、「～もしかして、あなたのニホンゴ、わかりにくい！？～外国人実習生との上手なコミュニケーションを学ぼう！」と題して、銚田地域農村女性大学第2回講座を開催し、銚田市の4名の女性農業者が参加しました。

講座は、一般財団法人海外産業人材育成協会日本語教育センターの飯塚知子氏を講師として、オンラインで開催しました。また、感染症拡大防止の観点から、参加者を2名ずつ、2会場に分け、感染防止対策を講じて実施しました。

講座では、まず「実習生はどのような順番で日本語を教わるか」について学びました。実習生は、最初に「～です。～ます。～ですか？」といった、いわゆる「です・ます調」の日本語を学ぶので、「実習生にわかりやすく話してあげよう」と思って、助詞がない、くだけた文体で話しかける（「それ、おいしい？」など）と、かえってわかりにくい日本語になってしまうこと、複数の文がつながっている文章（「これをしてからこれをやって」など）や、熟語（「開始」「終了」など）は、実習生が最初に習わない高度な日本語にあたるということなどを、ロールプレイングをしながら学びました。講座の最後には、受講生が今実際に困っていること、疑問に思っていることについて、講師に相談し、助言をいただきました。

少人数に分かれての講義とはなりましたが、お互いに画像で表情を確認でき、活発に意見交換を行うことができました。受講生からは、「とても役立つ内容だった」「主人にも聞いてほしい」「もっとたくさん農家が知っていたほうが良い内容だと思った」などの感想をいただくことができました。

普及センターでは、女性農業者の経営能力向上に向け、引き続き支援を行っていきます。

銚田地域農業改良普及センター（担い手）

